



“顔”の外科

今回は予定を変更して、反響が大きかった第2号「形成外科と顔」について掘り下げながら（和歌山県立医科大学形成外科学講座ホームページ <https://wakyamaprs.jp/>）のお知らせ欄参照、形成外科の診療について説明します。

人の身体は合理的な形をしており、正しい形状、位置、動きが良好な形態、機能をもたらします。われわれ形成外科医は、頭から指先までを治療対象とし、中でも「顔」の診療を得意としております。顔は生きていくのに重要な感覚器が集まっているだけではない、社会生活を営む上で、非常に重要な役割を果たします。

生まれつき

の病気やけが、できものなどで顔の一部が変形・欠損したりすると、その形態と機能を損ない、社会生活にも悪影響を及ぼすものです。「けがをしただから」「手術をしたんだから」「もって生まれたものだから」「仕方ないんだ」と諦められていませんか。

けがが手術・傷の痕、不便やコンプレックスも悩みを解消し、幸せに生きるお手伝いを

形成外科医は、例えば「きれいに縫う」ことに卓越しております。けがの痕、手術の痕など、目立つ傷が残っている場合は、その場所や傷痕の形に応じて修正術を行います。顔に傷痕があるだけで、顔を隠して暮らすことになることもあるかと、顔を隠して暮らすのバランスが崩れ、見た目が悪くなるかと思われ、非常に重要な役割を果たします。

生まれつき

の病気を取る場合も、できものを取るだけで十分な場合、傷痕が目立たないように手術を行います。

また、顔面を骨折した場合、機能面に障害がなければ、これまで和歌山では経過観察となることも多かったようです。

しかし、顔の形が崩れるということは、社会的な機

能が障害されます。頬がへこんでいる「鼻が曲がっている」など、変形が残っている場合は、それが昔のけがであっても治療することがあります。

顔の表情をつくる顔面神経が麻痺（まひ）してしまったり、顔の左右のバランスが崩れ、見た目が悪くなるかと思われ、非常に重要な役割を果たします。

生まれつき

の病気を取る場合も、できものを取るだけで十分な場合、傷痕が目立たないように手術を行います。

また、顔面を骨折した場合、機能面に障害がなければ、これまで和歌山では経過観察となることも多かったようです。

しかし、顔の形が崩れるということは、社会的な機

能が障害されます。頬がへこんでいる「鼻が曲がっている」など、変形が残っている場合は、それが昔のけがであっても治療することがあります。

顔の表情をつくる顔面神経が麻痺（まひ）してしまったり、顔の左右のバランスが崩れ、見た目が悪くなるかと思われ、非常に重要な役割を果たします。

生まれつき



れちゃったりします。そのようなときは、麻痺術を行います。

形成外科医が少ない和歌山県においても全国水準の治療を行い、一人でも多くの患者さんの悩みを解消することで、「幸せ

な顔」を手助けができます。そのほかにも、かみ合わせがずれてしまう「顎（がく）変形症」は、上顎と下顎のバランスが崩れていて、歯の位置が合わず、かみにくさを感じます。そのような場合は、提携している矯正歯科で歯並びを整える治療をした後に、上顎と下顎

のバランスを調整する手術を行います。

形成外科医が少ない和歌山県においても全国水準の治療を行い、一人でも多くの患者さんの悩みを解消することで、「幸せな顔」を手助けができます。

そのほかにも、かみ合わせがずれてしまう「顎（がく）変形症」は、上顎と下顎のバランスが崩れていて、歯の位置が合わず、かみにくさを感じます。そのような場合は、提携している矯正歯科で歯並びを整える治療をした後に、上顎と下顎

のバランスを調整する手術を行います。

形成外科医が少ない和歌山県においても全国水準の治療を行い、一人でも多くの患者さんの悩みを解消することで、「幸せな顔」を手助けができます。

そのほかにも、かみ合わせがずれてしまう「顎（がく）変形症」は、上顎と下顎のバランスが崩れていて、歯の位置が合わず、かみにくさを感じます。そのような場合は、提携している矯正歯科で歯並びを整える治療をした後に、上顎と下顎

教授・朝村真一
准教授・和田仁孝
助教・橋五月
助教・上野一樹

（和歌山県立医科大学附属病院形成外科）